

第6回総合球技場検討委員会 会議録

日 時 平成28年12月21日(水) 午後1時00分～

場 所 山梨県庁防災新館201会議室

出席者

- ・ 委 員 (50音順)
有賀委員、海野委員、河村委員、小林委員、小宮山委員、佐々木委員、佐藤委員、田中委員、野村委員
- ・ 県 側
吉原総合政策部長、小島総合政策部次長、依田リニア推進課長、望月都市計画課長、赤岡スポーツ健康課長、砂田エネルギー局主幹
(事務局：政策企画課)末木政策企画課長、渡辺政策主幹

会議次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議事
(1) 報告書(案)について
(2) その他
4. 閉会

内 容

1. 開会
司会：渡辺政策主幹
2. 委員長あいさつ
本日はお忙しい中ご出席いただき有難うございます。今回は最終回ということで、議論は報告書の内容についてとなる。この委員会では短い期間で、非常に多くのことを検討してきた。今回が最終回ということになるため、忌憚のないご意見をいただき報告書として取りまとめていきたいと考えている。
3. 議事
議長：委員長
(1) 整備候補地の比較について
議題(1)について、報告書(案)について事務局から説明した後、次のとおり意見交換を行った。
(委員長)
交通影響解析の47ページと48ページの結果は双方シミュレーション結果であるが、こういった関係であるか。また、45ページの改善方法については、これらの分

析から得られた改善方法であるか。

(事務局)

48ページ以降に関しては、対象地がリニア周辺ということで駅利用者にも配慮し、具体的な駐車場も設定し、分析シミュレーションを行なったものとなっている。設定台数2,000台のうち、1,500台が敷地内、500台が敷地外の周辺臨時駐車場を利用するものとして設定している。特に負荷が大きい大津町交差点にどのような負荷がかかるかを整理したものである。改善方法については、これらの解析から整理している。

(委員)

53ページのまとめに関して、「生活環境に最大限配慮するなど、地域住民の理解を得ながら検討することが望まれる」とある。ここにもう一つ、小瀬にしてみりニア駅周辺にしてみ、周辺企業や事業所等への土日の出勤に影響が出ることも想定されることから、企業や事業所などの理解も必要だと考える。

(委員)

具体性には欠けるが、候補地の検討として理解した。もう少し、選定内容の具体的な資料があれば良かつと考える。機能の点においては、県民のためのものと、県外からの利用者へのものとしての資源であるとか、ランドマークとなることが考えられる。この2つの機能を両立することは大変難しいことと考えられる。これらについて、場所や収容人数について、このどちらに重点におくのか、または県民、県外どちらのために作るのかという点が重要ではないか。

建設費について80億から120億と示されているが、県民1人1万円程度の負担が生じるということは示していくべきではないか。いかに負担を軽減していくかに関しては、現状数字までは議論できないということは理解しているが、こういった点は県民も関心が高いのではないか。

現状、報告書にもあるが、小瀬のスポーツ施設は国体からのものであり、老朽化が進んでいる。やはり県民の多くの方が利用されるのが小瀬であると考えられる。県の支出もかなりだと思ふ。総合球技場の検討においても、今後の小瀬の更新コストについて考慮して検討すべきではないかと考える。また総合球技場の更新等の投資についても、建設時から考慮すべきではないかと考える。

(事務局)

県内、県外の比重等、まだ検討を行なっていないので、今後十分検討していきたいと考えている。小瀬スポーツ公園の施設に関しても考慮しながら、今後検討を進めていきたいと考えている。

(委員長)

指摘いただいた点に関して、可能であれば報告書の修正に反映いただきたい。

(委員)

33ページの整備・運営手法であるが、どのタイミングで決める予定であるか。また多くの方に利用してもらわないと、運営収支が大変であると認識している。

(事務局)

県として基本構想をまとめていくが、県民負担の軽減は大きな課題である。基本構

想の中でどこまで絞っていくかは今後検討していくこととなる。

(委員)

短い時間での検討であったが、県はよくここまでまとめてくれたと感じている。報告書の内容としては特に問題ないと感じている。何度か話したとおり、リニアの駅前のほうが様々な理由で良いと考えている。

具体的な話でいくと、仙台のスタジアムは地下鉄泉中央駅の隣にある。鳥栖はＪＲ鳥栖駅に隣接している。新しく作っている北九州のスタジアムも小倉駅に近い。京都に計画されているスタジアムも駅に近い。このようなことを考慮しても、山梨の特性を活かすといった点でも、駅の近くに整備することは重要であると考えられる。

(委員長)

リニア駅周辺に関しては、多くの観客の来場も考え、公共交通の利便性の高さも重要になると考えられる。報告書にも反映されていると考える。

(委員)

小瀬の今後の老朽化を含めた検討が必要な視点であろうと考える。また整備には住民の理解が大事だと考えており、理解がないと早期整備が難しくなるのではないかと考えている。企業の話をしたが、工業製品を出庫する物流関係を考えても、交通渋滞による障害の発生は避けるべきと考えられる。リニア駅周辺と、ＪＲ甲府駅との役割分担も必要になるのではないかと考える。

この委員会では様々な視点があったが、企業に関しても今後検討の視点に入れていただければと考えている。

(事務局)

53ページに「地域住民の理解」という言葉のみとなっているが、当然企業からの理解も必要であろうと考えている。2つの候補地の地域においては、現在地元説明会等も実施している。先ほどの県民からの意見を聴く会のみではなく、広く地域住民の意見を聴きながら検討を進めていきたい。

(委員)

全体的には報告書としては良いのではないかと考える。建設費に関して、以前署名活動をした際に100億円という規模が出ていたが、県民はその額の感覚がわかっていないのではないかと考える。整備費に関して、県民の皆さんによく理解いただきながら進めていただいたほうが良いと思う。サッカーやラグビーは人気が高いため、理解を得ることはできると考える。吹田市立サッカースタジアムは民間からの99億円の寄付があるが、totoも含め幅広く資金調達に関して検討を進めて欲しい。建設方式等について、メンテナンス等についても県民負担がかからないように検討を進めていただきたい。

(事務局)

意見を聴く会や、その他関係者に話を聞く機会があったが、今後も幅広く意見を取り入れながら進めていくことが重要だと考えており、多くの方からできる限り忌憚のない意見をいただければと考えている。整備費に関しては、寄付を含め少しでも県民負担が減るような形を取ればと考えている。

(委員)

「整備を前提とする検討に着手する」との知事表明を受けて、本委員会では事例を

含め検討事項を細かく整理していただいた。細部までまとめられており、感謝している。報告書の1ページ目「はじめに」の部分は、もう少し書き込んで良いのではないかと感じている。9ページの「あるべき姿」に沿うスタジアムであれば異論がないというのが、この委員会でも県民の意見でも共通していた。これに対するネガティブな意見は出ておらず、今後は整備に向けたアクセルを踏むべきで、早期整備を行うことをもっと強調して良いのではないかと感じている。この委員会がどういった流れであったかをこの1ページ目に反映して盛り込んでいただければと考えている。

(委員長)

県民の意見を聴く会でも、参加者には熱意を持って論じていただいた。地域の発展、地域へのメリットがどういったものであるかを含め、もう少し強く打ち出そうと考える。地域にスタジアムが与える意味とって点も含めて1ページ目は加筆させていただきたい。

(委員)

総合球技場のあるべき姿の機能の視点の「スポーツを通じて地域経済の波及効果を創出し、本県の振興に資する」という項目に、地域経済の波及効果ということで、付帯機能の方向性が書かれている。波及効果について、候補地によりさらに具体化すると考えるが、いかにこの効果をあげていくことができる仕掛けや仕組みを作れるかを今後詰めていければよいのではないかと考えている。

また、交通や物流に関してなどマイナスの効果に関しても、合せて整理していただければと考えている。

他のスタジアムでは付帯機能としていろいろなものが挙げられている。イベントだけではなく、コンスタントに人が集まるような“リピーターづくり”を行なっているところが面白いと思った。付帯機能として持たせるという点と、周辺の事業者との関係も含めて考えることも、検討が必要な点ではないかと考える。

(事務局)

候補地を1箇所に絞った際には、どういった仕掛け仕組みが考えられるかを検討していかなければならないと考えている。地域振興に寄与する施設という点が、総合球技場には求められていると考えている。周辺の企業等とも同じ方向を向きながら検討していきたいと考えている。

(委員長)

いくつか指摘いただいた点があるため、報告書の内容の修正が発生するが、大きな修正はなく、細かい修正内容の確認は私が行いながら進めていくこととしたい。

総合球技場は大きなインフラ整備となるが、施設自体を作るのが目的ではなく、作ってからどう活かしていくかが問題であると考えている。とくにあるべき姿の中で、経済的な波及効果、県民のシビックプライド等々の効果に対する費用をどのように考えるか。そういった点を考慮しながら建設し、どのように運営を行っていくのかを検討することが重要だと考えている。今回は大きな方向性を示したということで、今後はより詳細な検討を進めていただきたいと考えている。

報告書に関しては、細かな点を修正後、知事に報告させていただく。今回は短期間で検討を行ったが、多くの意見をいただき検討を進めることができたと考えている。今後ともスタジアムの検討について協力をお願いしたい。委員会を通して協力いただき感謝したい。

(2) その他について

事務局として、本委員会で指摘いただいた内容を修正し委員長に確認していただく。知事への報告は、明日 22 日に実施を予定している。

4 . 部長挨拶

今年度 6 月から、委員の皆様には、6 回にわたりご多忙な中、総合球技場に関して熱心に議論いただき、本日報告書として取りまとめることができ感謝申し上げます。その間、資料に関して至らない点等もありお詫びしたい。短い時間の中で、様々な方面から議論いただき、改めて厚く御礼申し上げます。報告書の内容を踏まえ、基本構想の策定をし、さらには具体的な整備に向けて取り組んで参りたいと考えている。今後ともお力添えいただければと考えている。

5 . 閉会

司会：渡辺政策主幹